

専門家の知見と、当事者の現実から

企業防衛を再考する

サイバーリスクを  
構造で読み解く専門家



山田 淳史氏

KPMGコンサルティング  
アソシエイトパートナー

ランサム被害を  
乗り越えた実務責任者



達城 利元氏

関通 情報システム管理部 部長  
Cyber Governance Lab  
代表取締役社長



藤野 浩二氏

東京海上日動パートナーズ  
TOKIO 法人営業部 部長



日野 和麻呂

オービックビジネス  
コンサルタント 執行役員  
セキュリティ対策責任者

例外ではない  
ランサムウェアの脅威

# サイバー攻撃の今と 企業防衛の最前線

5.22

FRI. 14:00-16:30





📍 日経カンファレンスルーム  
(大手町)



お申込み <https://www.obc.co.jp/260522>

お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/260522>

<b>サイバー攻撃の今とこれから ～昨今の現状と企業における 対策状況の解説～</b>  KPMGコンサルティング 山田 淳史氏	昨今のクラウドサービス利用や多様な働き方の浸透、生成AIの劇的な進化などにより、IT環境を取り巻くリスクもめまぐるしく変化しているとともに、ランサムウェアやAIを悪用したサイバー攻撃もますます激しさを増し、巧妙化しています。本セッションでは、サイバー攻撃の現状、重要な経営課題の1つとなっているサイバーセキュリティへの国内企業の取り組み状況について解説します。 <ul style="list-style-type: none"><li>サイバー攻撃の実態 ～「KPMGサイバーセキュリティサーベイ2026」を基に～</li><li>サイバーセキュリティ管理態勢</li><li>サイバーセキュリティ対策</li></ul>
<b>ランサムウェア被害の教訓 ～全てを捨てて挑んだ再構築と、 被害企業の情シス責任者が語る 『真の事業継続』～</b>  関通/Cyber Governance Lab 達城 利元氏	2024年9月、株式会社関通を突如襲ったランサムウェアによる全システムダウン。17億円という甚大な被害総額、鳴り止まない電話、そして会社の存続を揺るがすキャッシュフローの危機。絶望的な状況の中、経営陣が下した最大の決断は「空き巣に入られた家は捨てる（全システムの廃棄と再構築）」ことでした。セッションでは、経営陣の決断を、被害現場の最前線で具体化した関通・情シス責任者の立場から当時を振り返るとともに、その経験から見た「真の事業継続」を赤裸々に語ります。 <ul style="list-style-type: none"><li>悪夢の始まり：サイバー攻撃被害のリアル</li><li>究極の二択と、経営の意思決定</li><li>復旧への執念と、これからの防衛戦略</li></ul>
<b>“勘定奉行のOBC”セキュリティ対策責任者が語る、安全なクラウドサービスの見極め方</b> オービックビジネスコンサルタント 日野 和麻呂	
<b>Coffee Break・ネットワーキング</b> コーヒーをご用意いたします。講師及びご参加者様同士の交流の場にご利用ください。	
<b>急増するサイバー攻撃にどう備えるか～サイバーリスク保険を活用したインシデント対応～</b> 東京海上日動パートナーズTOKIO 藤野 浩二氏	
<b>【Talk Session &amp; QA】 サイバー攻撃の今と 企業防衛の最前線</b>  KPMGコンサルティング 山田 淳史氏 関通/Cyber Governance Lab 達城 利元氏	被害発生後に直面する実務上の課題を踏まえながら、平時に整えるべき統制と、被害を最小化するための初動・復旧の考え方を共有します。 <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 現状再分析：サイバー攻撃は“例外”ではない<ul style="list-style-type: none"><li>被害に遭う企業の共通点</li><li>被害を受けた“後”に初めて見えてくる実務上のリスク</li></ul></li><li>(2) 守りを固める<ul style="list-style-type: none"><li>ツール導入だけでなく、統制を効かせることが重要</li><li>委託先、グループ会社が自走できる環境整備</li></ul></li><li>(3) 大事なことは、被害の最小化と早期復旧<ul style="list-style-type: none"><li>インシデント時の最優先は“原因究明”より“復旧・継続”</li><li>インシデント対応における“準備”と“訓練”の重要性</li><li>復旧の生命線：バックアップと資金繰り</li></ul></li><li>(4) Q&amp;A：ご参加の皆様のご質問にお答えします。</li></ul>
<b>名刺交換会</b>	講師及びご参加者様同士の交流の場にご利用ください。
<b>山田 淳史氏</b> KPMGコンサルティング株式会社 アソシエイトパートナー	
<b>達城 利元氏</b> 株式会社関通 情報システム管理部 部長/Cyber Governance Lab 株式会社 代表取締役社長	
<b>藤野 浩二氏</b> 株式会社東京海上日動パートナーズ TOKIO 法人営業部 部長	
<b>日野 和麻呂</b> 株式会社オービックビジネス コンサルタント 執行役員/ セキュリティ対策責任者	

**サイバー攻撃の今と企業防衛の最前線 @日経カンファレンスルーム（大手町）**

日時	2026年5月22日（金） 14:00～16:30（13:45から開場）
定員	100名（事前登録制・無料）
会場	日経カンファレンスルーム 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル6F 日経カンファレンスルーム <a href="https://www.nikkei-hall.com/access/">https://www.nikkei-hall.com/access/</a>
対象 共催	中堅・上場企業における情報システム部門、経営企画部門、管理部門の責任者 等 株式会社関通/株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO/宝印刷株式会社/株式会社オービックビジネス コンサルタント
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 担当：坂本/山口 mail： <a href="mailto:obc-as@obc.co.jp">obc-as@obc.co.jp</a>

※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。  
※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性があります。